

令和4年3月16日
独立行政法人福祉医療機構
経営サポートセンター長 坪井 七夫
経営サポートセンター
リサーチグループリーダー 松本 庄平
担当 内記 (電話) 03-3438-9932
(FAX) 03-3438-0371

2020年度（令和2年度） 医療法人の経営状況に関するリサーチレポートについて

独立行政法人福祉医療機構では、福祉医療貸付事業の債権管理の一環として、毎年度、融資先からご提出いただく財務諸表等を基に、社会福祉法人や医療法人、福祉・医療施設等の経営状況について集計・分析しています。

このたび、2020年度（令和2年度）の医療法人の経営状況について、リサーチレポートをとりまとめました。

〈リサーチレポート〉 <https://www.wam.go.jp/hp/keiei-report-r3/>

リサーチレポートの概要

- 2019年度・2020年度比較
 - ✓ 事業利益率は1.4ポイント低下の0.7%となった一方、経常利益率は0.3ポイント上昇の2.8%となった
 - ✓ 赤字法人割合は3.4ポイント拡大の25.9%となり、経営状況の厳しい法人は増加
- 病院主体医療法人の経営状況
 - ✓ 経常利益率は0.4ポイント上昇の2.6%となった一方、赤字法人割合は拡大
- 老健主体医療法人の経営状況
 - ✓ 経常利益率は3.7%、赤字法人割合は21.6%とともに横ばい
- 医療法人立の診療所の経営状況
 - ✓ 半数近くの有床診療所で赤字となった
 - ✓ 主たる診療科別の無床診療所の経営状況は、特に耳鼻咽喉科が厳しい

※1 経常利益が0円未満を赤字とした

※2 医療法人について、主体事業の判定は事業収益のうち収益額が50%を超える事業（50%を超える事業がない場合は複合事業）とした

※3 診療所について、複数の診療科を標榜する場合、もっとも収益の多い診療科を主たる診療科と分類した

以上